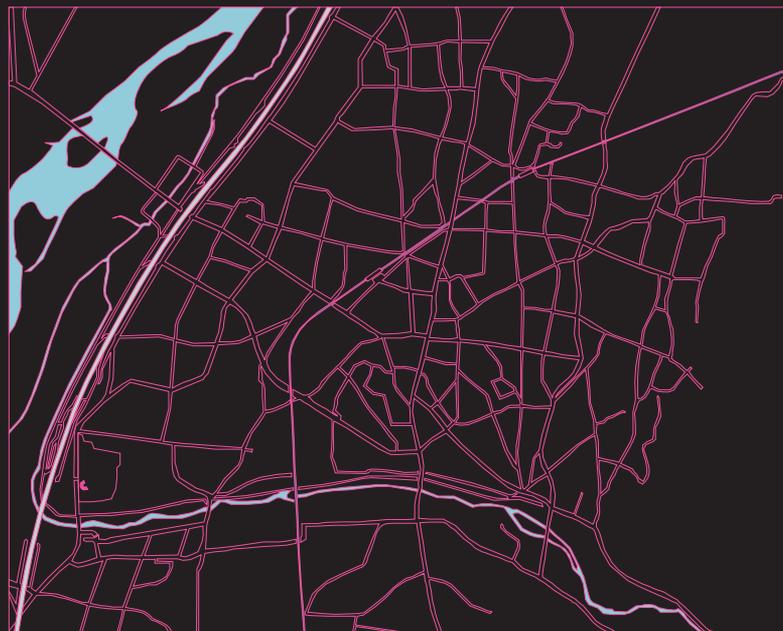


systems of (de)composition : 011 notations / Christophe Charles



オブセコンテンポラリー vol.6

音と彫刻による環境造形・パブリックアートの提案

1.18-4.8 2008

音響 クリストフ・シャルル Christophe Charles

彫刻 藤井浩一郎 Kouichiro Fujii

planning 2007 / Koichiro Fujii



音と彫刻による環境造形・パブリックアートの提案

2007年7月に作家が小布施町を訪問調査し、小布施という固有な場所・環境に対しての作品を構想していただくことからはじめ、環境に定着（永久設置）させる「パブリックアート」としての計画自体を、美術館から地域へ提案しアプローチする企画展です。企画展展示期間を通して、具体的な展開へ向けて、地域の方々や観客の皆さんの印象と感想を重ねることで、アーティストの構想が広く受けとめられ、実現へ向かうことを期待いたします。

音響作品の作曲及び音響システムを計画するクリストフ・シャルル氏は、小布施の街路にて流れる音響として楽曲を作曲し、彫刻家の藤井浩一郎氏は、小布施町に設置する前提での彫刻作品（環境を映し出す新作：鏡面彫刻）をプランニングし、パブリックアートの意味と価値を提案します。

<p>クリストフ・シャルル Christophe Charles</p> <p>1964 フランスマルセイユ生まれ。 1983~ インスタレーション、コンサート、サウンド、CD、空間音響 1987~ メディア・アートの歴史的理論研究</p> <p>研究： 1985-1987 Hochschule Bildende Kuenste/ハンブルク(Gaststudent) 1987-1996 Monbusho 奨学金(日本の文部省):名古屋大学、日本大学(東京)、筑波大学 1996: Phdと芸術とデザイン、筑波大学。 1996-1997 Bourse ラボアジェ(フランスの外務省) 1997: Phd(Doctorat es-lettres)、日本の研究、INALCO、パリ</p> <p>フルタイム(専任教員) 1996-1999: 神戸芸術工科大学、ビジュアルコミュニケーションデザイン科 講師 1999-2000: 中京大学情報科学部 講師 2000~: 武蔵野美術大学(東京) 映像学 准教授</p> <p>Lecturer(非常勤講師) 1995-1999: 武蔵野美術大学(東京) 映像学 学科 1997-1999: 精華大学(京都) 版画科 1997-1998: 筑波大学、比較文化学部 1997-1998: 国際情報科学アカデミー(IAMAS、岐阜) 2002-2003: 東京芸術大学 音楽学部 2003-2004: 早稲田大学、川口大学 2004-2006: 多摩美術大学 情報デザイン学科</p> <p>個展 ギャラリースキャン(東京、1988) Giannozzo Kunstverein(ベルリン、1989) ギャラリー大波(東京、1990) Gallery内藤(名古屋、1992) ギャラリーハム(名古屋、1993) 横浜美術館アートギャラリー(1995) アートハウス(群馬、1998)</p> <p>ソロコンサート(抜粋) Nice MANCA Festival / フランス、1992、1997 オークランド Artspace / ニュージーランド 1997 ブラハナショナル・ギャラリー / Plasy Convent チェコ共和国、1997 Dokumenta X Hybrid Workspace / カッセル、ドイツ、1997 Buro7 / パリゲーテ Institut、1998 X-tract / ベルリン Podewil、2000 Sound Art ICC / 東京、2000 send+receive / Winnipeg、2000 ポストテクノ(学的)音楽シンポジウム / 東京 Zone、2002 Frequenzen / Frankfurt Schirn Halle、2002</p> <p>展覧会(抜粋) 「Der Gute Ton Zum Schoenen Bild」/ ハンブルク Kunsthaus1989 「韓国日本パフォーマンスフェスティバル」/ Tokiwaza、東京 1990 「Centre Vide」/ 谷中アートフォーラム、Tokyo、1991 「M in M」project / 1992-1997 東京上野公園 「目としての耳: 首の芸術家によるドローイング展」LACE1998 「Near the Beggining」Symposium / Plasy、チェコ共和国 1997 「サウンドアート」/ ICC(東京、2000) 「(un)related-4 collaborators」、Saison Art Program Gallery(東京、2000) 「PICAF」(釜山の国際現代の芸術祭 2000) 「ラジカルファッション」(Installation sonore、ヴィクトリア&アルバート美術館、ロンドン、2001)</p> <p>URL : http://home.att.ne.jp/grape/charles/</p>	<p>藤井浩一郎 Kouichiro Fujii</p> <p>1963 大阪府生まれ 1988 東京造形大学造形学部研究生修了 1992~ 鉄の大型立体(循環源象シリーズ)制作開始、東京野外現代彫刻展、横浜彫刻展等で発表 1994~ 鉄粉を使用した平面作品と鉄の立体のインスタレーション等発表 (現代日本美術展、ときわ画廊個展等)</p> <p>1997~ ハリガネを使用した平面制作 1997~1998(財)ポーラ美術振興財団助成によりニューヨーク滞在 2000 / ホルベインスカラシップ奨学金 帰国後、INAX ギャラリー2('99)、伊藤忠ギャラリー('00)、VOCA展('00、'01)等で発表 2002~ 折り紙ヒコーキを中心に制作開始。/ 素材: 紙、鉄、ステンレススチール等 2003~ 東京造形大学 造形学科 非常勤講師</p> <p>個展 1993「循環源象・鉄」ときわ画廊(東京) 1994「循環源象」ときわ画廊(東京) 1995「循環源象・領域」ときわ画廊(東京) 1996「循環源象・距離」ときわ画廊(東京) 1997「循環源象・その先の場所」ときわ画廊(東京) 1998「その先の場所 / ドローイング」スペース遊(東京) 1999「鉄線ドローイング」INAX ギャラリー2(東京) 1999「藤井浩一郎展」METAL ART MUSEUM 2000「藤井浩一郎展」伊藤忠ギャラリー(東京) 2000「藤井浩一郎展」Galeie de Cafe 伝(東京) 2001「藤井浩一郎展」ギャラリー TAGA(東京) 2001「藤井浩一郎展」ギャラリー FLOOR2(東京) 2002「弱」朋矢 SAITO ギャラリー(東京) 2002「藤井浩一郎展」スペース遊(神奈川) 2003「藤井浩一郎展」K's ギャラリー(東京) 2003「夜、海ヲ渡ル」スペース23°(東京) 2004「Starship」ギャラリーせいほう(東京) 2004「Take The STARSHIP」ギャラリー伝心柱(山梨) 2005「a spacious mind」ギャラリーイノブス(東京) 2005「Starship」高島屋(大阪) 2006「彫刻-線から」現代 HEIGHT Gallery DEN(東京)</p> <p>主なグループ展 1992 東京野外現代彫刻展-砧公園(東京) 1993 横浜彫刻展 横浜美術館「美術の広場」(神奈川) 1994「横浜の風」展 上海市美術館(中国) 1995 NICAF'95 / シンフィコ横浜(神奈川) 1996 原風景 VIII 東京都美術館(東京) 1998 ソクラテス現代野外彫刻展 ソクラテス彫刻公園(USA) 1999 リテックスピエンナール 青山スパイラル(東京) 2000 VOCA展 2000 石川健次選 上野の森美術館(東京) 2001 VOCA展 2001 佐々木吉晴選 上野の森美術館(東京) 2002「こころのパン」プロジェクト イズミット市立美術館他5都市巡回(トルコ) 2003「平和へのメッセージ」展 佐藤美術館(東京) 2003 上海現代芸術展(中国) 2006「Imaginary Truth」東京造形大学附属横山記念マンズー美術館(東京)</p> <p>収蔵 いわき市立美術館(福島) 神奈川県立近代美術館(神奈川) 世田谷区(東京) 鶴見区(神奈川) 西那須町(栃木) 三好町(愛知) イズミット市立美術館(トルコ) ソクラテス彫刻公園(ニューヨーク)</p>
--	--

ViVa(美場)おぶせ ワークショップ作品集 *viva seminar workshop exhibition*

CHIKUMA-RIVER SIDE ART SEMINAR

2007年度に当館にて、オブセコンテンポラリー各企画展参加作家を講師に向かえて行われてきた、美場セミナー(全19回)ワークショップ「ViVa(美場)おぶせ」参加者による作品展を、vol.6「音と彫刻による環境造形・パブリックアートの提案」展開催期間中、実習室及び1F企画展示室にて、併催いたします。

ドライポイント・リトグラフ・クリアグラフ・ビニールペインティング・石膏直付け・ワイヤーワーク・妄想画等。
プロも顔負けの楽しい作品集をぜひご覧ください。



vol.6 Environmental forming by sound and sculpture

オブセコンテンポラリー

<http://obusecontemporary.com>

千曲川ハイウェイミュージアム
CONTEMPORARY ART PROJECT 2008

長野県上高井郡小布施町大学大 TEL.026-247-6600 FAX.026-247-6611
E-mail: info@obusecontemporary.com (お問い合わせ一般)
E-mail: system@obusecontemporary.com (サイトに関するお問い合わせ)

NEXCO
東日本

千曲川ハイウェイミュージアム 企画展示室

2008年1月18日(金) - 2008年4月8日(火)

開館時間 / 9:00 - 17:00 (会期中無休)
入館料: 大人 ¥300・高校生 ¥150・中学生以下無料

■上信越自動車道/おぶせスマートインターより0分 (ETC装着車のみ)
信州中野ICより車で10分 ■長野電鉄/長野→小布施間 30分 小布施駅より徒歩20分
(即内周遊シャトルバス有り/地図上—のライン/1日券:300円/3月~12月の土 日 祝日+行楽期の平日運行)



Environmental forming by sound and sculpture

音響

クリストフ・シャルル

彫刻

藤井浩一郎

音と彫刻による環境造形・パブリックアートの提案

2011年

2008年



2014年

2008年

sound

Christophe Charles

sculpture

Kouichiro Fujii



viva seminar workshop exhibition

VVa (美場) おふせワークショップ作品集

2007年度に当館にて、オブセコンテンポラリー各企画展参加作家を講師に呼びかけて行われた、美場セミナー（全19回）ワークショップ「VVa（美場）おふせ」参加者による作品集を、実演室及び1F企画美術室にて、掲載いたします。ドライポイント・リトグラフ・クリアグラフ・ビニールペインティング・石膏造形・ワイヤーワーク・装飾美術。プロも勝負の楽しい作品集をぜひご覧ください。

BLISE

<http://obusecontemporary.com>

千曲川ハイウェイミュージアム

CONTEMPORARY ART PROJECT 2008